

台風19号襲来、過去最大量のごみ漂着！



平塚市金目川河口

令和元年度の海岸は、春の嵐と5月の低気圧通過による大雨の影響でごみが大量に漂着するという、例年と同様の状況で始まりました。その後は、7月末までは台風の発生数も少なく、海岸も落ち着きを見せていました。7月末から8月にかけて台風の活動が活発になり、記録的なペースで台風が発生しましたが、太平洋高気圧の張り出しが強く西日本を通過していったため、神奈川県への漂着ごみの影響はありませんでした。

しかし、9月9日の台風15号は、三浦半島をかすめ千葉県に上陸するコースをたどったため、通過時および通過後の強い南西風の影響で、横須賀市から茅ヶ崎市における海岸のうち西向きの海岸が、漂着ごみの大きな影響を受けました。

そして、10月12日の台風19号は、今年度、海岸に最も大きな影響を及ぼしました。関東周辺各地の堤防が決壊して河川氾濫による浸水被害が発生、北陸新幹線の車両基地が水没するなどの被災状況が連日報道されましたが、この台風は伊豆半島に上陸をしたあと神奈川県を縦断して、箱根町では観

測史上最多の1000ミリを超える雨が、また河川上流の丹沢湖や相模湖においても500ミリを超える雨が観測され、河川上流部から土砂崩れ等により流出した大量の流木や木屑、浸水被害により倒壊・流出した河川周辺建造物などの大量のごみが海岸に漂着しました。

特に大きな影響を受けた場所は、金目川から流出したごみが漂着した平塚市と大磯町、酒匂川および早川から流出したごみが漂着した小田原市でした。11月から今年度第3回目の緊急清掃を実施し、漂着ごみの処



大磯町北浜

理に着手しましたが、財団の海岸清掃では対応しきれない、近年では経験したことが

ないほどの様々な種類・量のごみが、上記の海岸に漂着したため、神奈川県では国に対し「災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業」の実施を申請し、国の補助を受けながら神奈川県主導で漂着ごみの撤去作業を行うという、財団設立以降初めてのできごととなりました。



小田原市御幸の浜

この台風19号による漂着ごみの処理は、財団が対応するエリアでは年内に海岸の清掃とごみの撤出が完了しましたが、平塚市、大磯町、小田原市エリアでは海岸内での集積・整理作業は財団が年内に完了したものの、神奈川県が対応する集積ごみの撤出作業は年度を越える見込みとなりました。

コットンエコバッグを作成しました！

財団では、プラごみゼロを目指し、これまでイベント時に広報誌などを入れて配布していたプラスチックバックを廃止し、代わりに、株式会社カナジュ・コーポレーション様、株式会社トール様、株式会社服部商店様、株式会社フジプロ様の

ご協賛を得て、オリジナルコットンエコバッグを作成しました。

色はネイビーとナチュラルの2色で、「NO BEACH NO LIFE」のメッセージもおしゃれな仕上がりになりましたので、ぜひ、財団が出席するイベントでゲットしてください。



交流会中止

海岸美化団体等交流会の開催中止について

日本国内での新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、3月7日に予定していた令和元年度海岸美化団体等交流会の開催を中止することにいたしました。
ご参加をご予定されていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

例年、3月の第一土曜日に開催していた海岸美化団体等交流会ですが、今年度は日本国内での新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、開催を中止しました。

国立科学博物館の田島木綿子先生に活動発表に横浜SUP倶楽部の柿澤さんと非常に魅力的な発表も予定されていたのですが、参加者や関係者の健康と安全面を第一に考えた判断になりました。

ご参加をご予定されていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

講演が続きました

昨年の秋から講演が続きました。まずは10月に横浜赤レンガ倉庫で開催された東京湾大感謝祭。タレントの哀川翔さん、日本テレビアナウンサーの榎太一さんと一緒の登壇でした。

翌週は、VMCYハーバークラブ定期講演会、11月は桂川相模川流域シンポジウム、1月は湘南台地区生活環境協議会、2月は三井住友信託銀行藤沢支店での勉強会と様々な機会を得て、海岸ごみの現状をお話しました。



感謝状を贈呈しました



横浜富士見丘学園JRC・IAC部様に感謝状を贈呈しました。

感謝状は、交流会で贈呈する予定でしたが、その交流会が今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまったので、顧問の富田先生が本部事務所にお越しになられた際に、記念品として普段活動されている海岸の砂を使ったオリジナルの砂時計とともに、贈呈させていただきました。

「〈はまぎん〉SDGs私募債〜未来へ〜」によるSDGs推進に対するご寄付をいただきました

「〈はまぎん〉SDGs私募債〜未来へ〜」は、横浜銀行が神奈川県と結んだ「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」に基づき発行する私募債で、発行額の0.1%を県関連団体のSDGs推進に資する取組に寄付する仕組みになっています。

「マイクロプラスチック問題への取組み」をテーマにSDGsの14の目標のうち、「4：質の高い教育をみんなに」「12：つくる責任 つかう責任」「14：海の豊かさを守ろう」の3つの目標の達成に向けて、ご寄付いただきました。

